

第4回 大井上水道企業団水道料金等審議会 議事録

日時：令和6年 1月31日（水）午前 9時55分から10時28分

場所：大井上水道企業団 2F 会議室

出席者 審議会委員：佐藤会長、岡村副会長、長谷川委員、久保田委員
伊藤委員、北川委員、

大井上水道企業団：小野次長、田中係長、相澤係長、増田主任、木村主査

欠席者 審議会委員：大石委員

1. 開会
2. 審議会会長挨拶
3. 局長挨拶（代理：次長）
4. 審議

議題1 料金体系確認及び今後のスケジュールについて（資料1）

議題2 諮問に対する答申について

事務局 出席数確認（会議成立の確認）大石委員が能登半島地震対応の為欠席及び本日の進行について説明。

佐藤会長 挨拶

次長 挨拶

佐藤会長 議事進行

事務局 議題1 料金体系確認及び今後のスケジュールについて説明

佐藤会長 事務局説明に対して質問はありますか。

○委員

表だけ見ているが、島田市と企業団の比較で企業団の改定後基本料金が島田市の料金と比較して高くなるが、口径50mmだけ企業団の方が安いのはなぜか。

●事務局

現行の水道料金表が確認できると思うが、企業団新料金は10%の値上げをベースに掛けている。島田市の口径50mm料金単価は6,490円となっているが、料金算定は各市町村によって異なり使用量やメータ口径の比率によって基本料金の算定を行っている。具体的な計算式を今お伝えすることはできないが、島田市の中で算定した料金体系の中で50mmの基本料金は6,490円となる。50mmの料金が特別高い等の意味合いを持たせていることはない。

○委員

もともと島田市の50mmは、料金設定が高い状態かもしれないということか。

●事務局

高いというのが何を基に高いかお伝えすることができませんが、算定すると50mmが高くなっているということ。

○委員

島田市の算定に従って料金を決めた結果、50mmの基本料金が高くなった。

○委員

新しい料金体系によって、起債による資金に合わせて日常の管理業務や計画された建設工事の資金を確保でき、そして留保資金においては目標の三億円は下回ってしまうがそれに近い数字を確保することができる。

事務局 議題2 諮問に対する答申について

佐藤会長 事務局説明に対して質問はありますか。

○委員

自然災害が激甚化しているということで、脱炭素化への取り組みが必要であるという説明だが、「近年気候変動がもたらす」の近年の後に「二酸化炭素の排出量増加と考えられる」みたいな言葉を入れた方が良いのではないか。

●事務局

承知しました。

○委員

今回水道料金の値上げに対する答申ということで、付帯意見(4)はその通りだが、災害が起こることはしょうがないことで、災害が起きた時の為に現状を知っておく必要があり、シミュレーションがしやすい資料を島田市側に求める必要があるのではないかと思う。

いくつかの災害に対して企業団の水の応急体制シミュレーションは現在でも行われているか。

●事務局

島田市震災時対策要綱というものがあり、それに基づいて応急給水や管路復旧を行う。

○委員

能登半島地震では地盤の問題が多くあり、それによって被害が多くでていると思うし、シミュレーションができてアピールしやすいものの資料を要求すれば非常にありがたい。

●事務局

そちらの方も追加させていただきます。

●事務局

答申については、今回の審議会において追加要望があった文言について追加させていただいた後に再度確認をしていただきたいので、郵送させていただきます。

5. 閉会